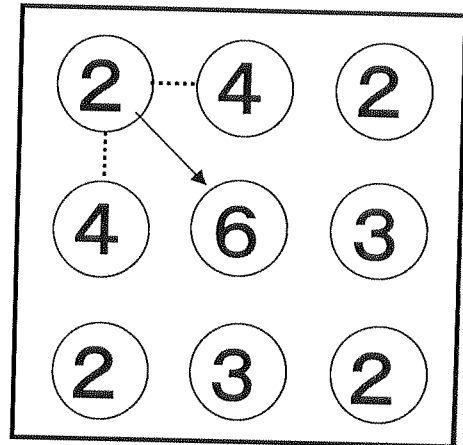


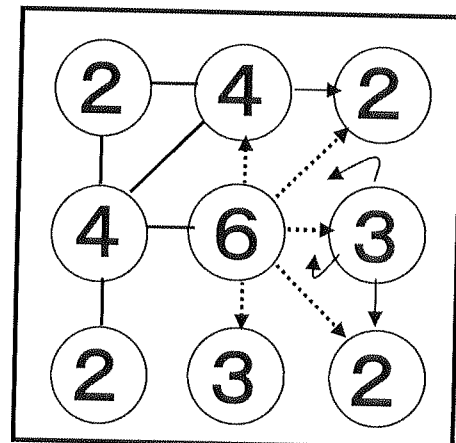
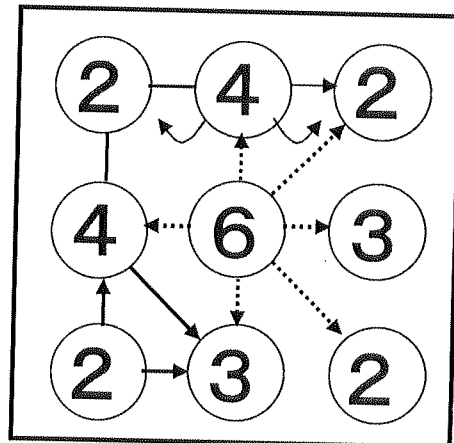
【解答】 ナンバーリンク その67

(考え方の例)

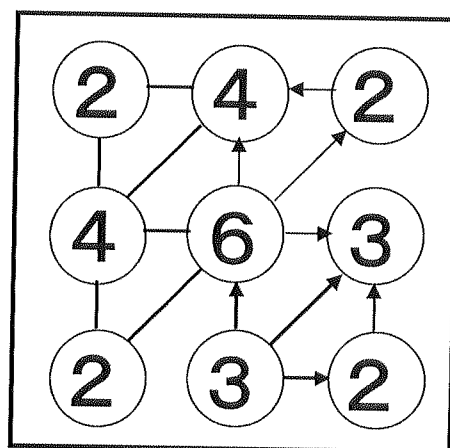
- ・ 左上②の1本の線を中央⑥をつないだとします。もう1本は、左中④か中上②です。どちらかの④とつなぐと左上②は決定し、もう片方の④から4本の線が伸ばせません。ですから、左上②は、中央⑥をつないではいけなないので、並んだ2つの④とつなぎます。



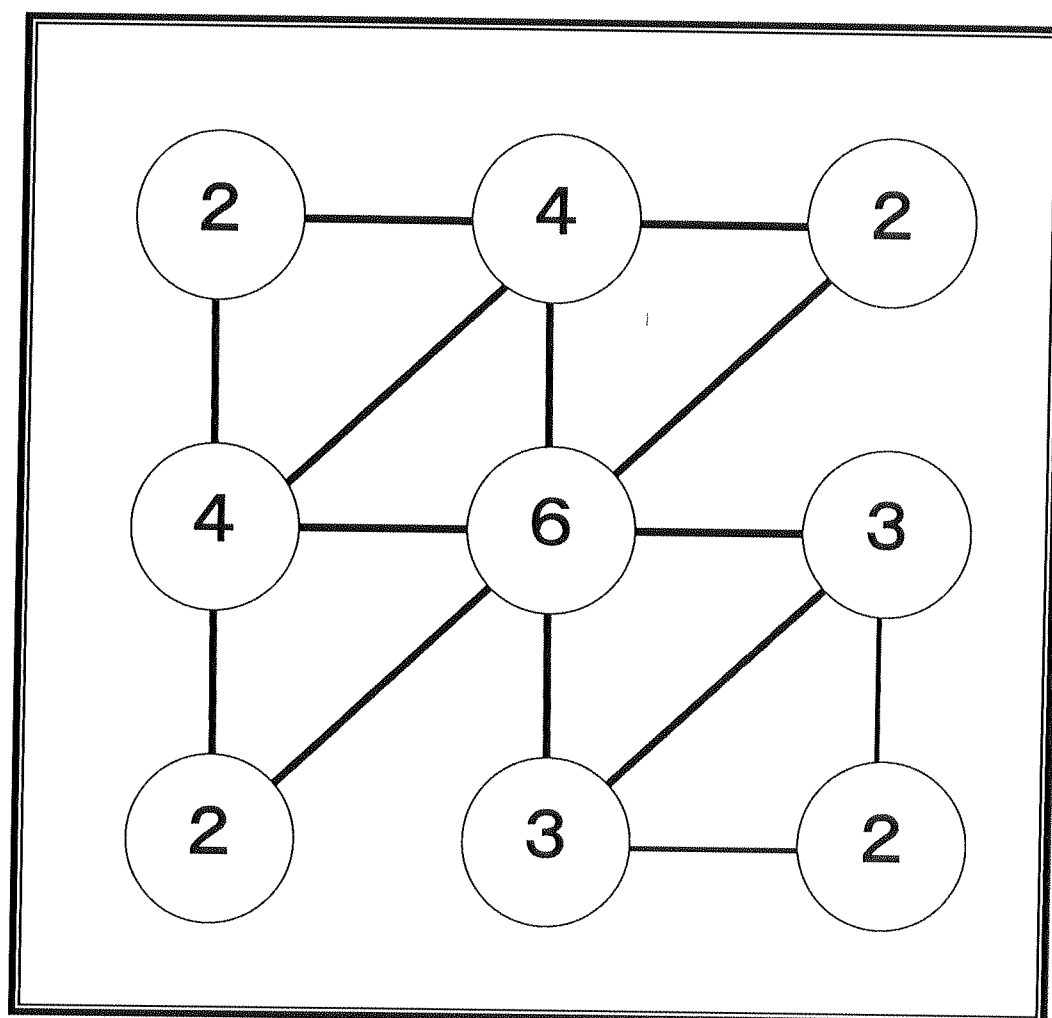
- ・ 次に、左中④と中下③をつなぐことを考えます。
- ・ すると、中央⑥から左下②へはつなげなくなるので、⑥からは、左上②と左下②以外の6ヶ所とつなげなければなりません。
- ・ すると左下②は左中④とつながなければならなくなり、左中④の4本が決まるので、中上④とはつなげません。しかし、中上④から3本しか線がのばせなくなるので、左中④と中下③をつないではいけなことがわかります。つまり、左中④の4本が決まります。
- ・ さらに、中央⑥と左下②をつながないとすると、中上④も右上②も決定し、すると右中③が3本の線を伸ばせません。よって、中央⑥と左下②はつなぐことが分かります。



- これによって、左下②が決定し、中下③の3本も決定。
- すると中央⑥の6本が決定して他の数字から引ける残りの場所に線をつないで完成です。



<完成図>

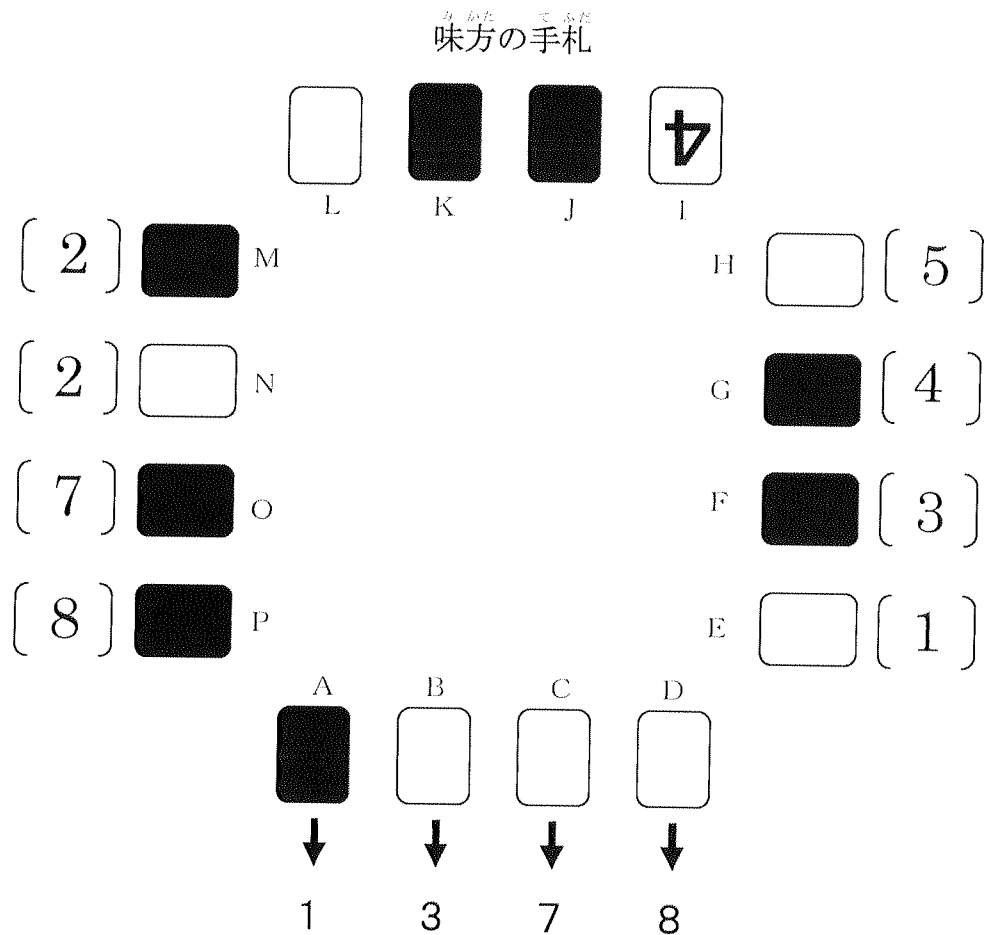


【解答】 詰めアルゴ その67

下のアルゴゲームは、4人ペア戦のものです。

次は、あなたがアタックする番です。味方がトスして見せてくれたIのカードは4でした。対戦相手のカードを当てましょう。

(カードは白と黒の1～8を使っています。)



自分の手札 (相手には伏せてあります)

【考え方の例】



の残り : 2、3、4、5、6、7、8



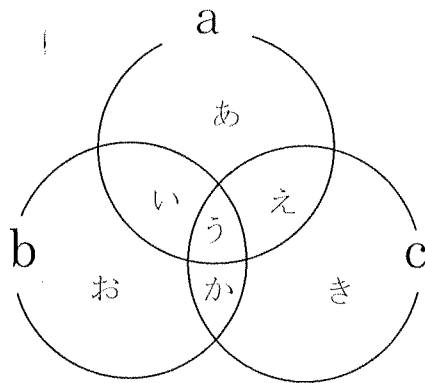
の残り : 1、2、5、6

- ・ 自分が白の7、8を持っているので、味方のLやHは、最大で6。
そのとなりのKやGも最大で6。
- ・ よって、黒の7、8は、O、Pに決まる。
- ・ 味方のJは5以上なので、 $J=5$ 、 $K=6$ 、 $L=6$ と分かる。
- ・ 黒1を自分が持っているので、Mは2以上、Nも2以上と分かるので、白の1はEと決定。
- ・ 白の1とHの間に黒が2枚あるので、Hは2ではないことが分かり、白の2はNと決定。これによって、Mの2も決まる。
- ・ 黒と白の残りから、 $F=3$ 、 $G=4$ 、 $H=5$ 。

【解答】 チャレペー その67

a, b, c の3つの^{えん}円に、あ～きの、7つの^{へや}部屋ができています。

この7つの^{へや}部屋に、1～7までの^{すうじ}数字を1つずつ入れて、
a, b, c の^{えん}円の中の^{なか}数字の^{すうじ}和が3つとも^{ひと}等しくなるように、
2^{とお}通りの^く組み合わせ^あを作^{つく}りなさい。ただし、い=1、き=5
だとわかっています。



あ	い	う	え	お	か	き
	1					5
	1					5

【考え方の例】

b と c の円に注目します。

$$\text{い} + \text{お} + \text{う} + \text{か} = \text{え} + \text{き} + \text{う} + \text{か}$$

で、「う」と「か」は共通しているので、

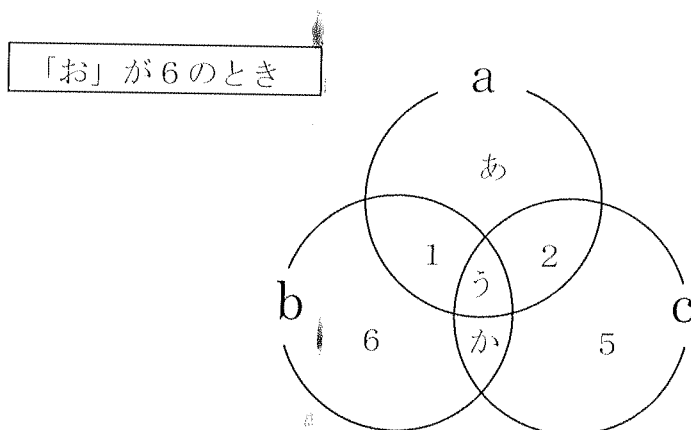
$$\text{い} + \text{お} = \text{え} + \text{き}$$

になります。ここで、 $\text{い} = 1$ 、 $\text{き} = 5$ だとわかっているので、

$$1 + \text{お} = \text{え} + 5$$

ここで、「お」は6か7だとわかります。

まず、「お」が6のとき、 $\text{え} = 2$ になります。



次に、a と c の円に注目すると、

「う」と2は共通なので、

$$\text{あ} + 1 = \text{か} + 5 \quad \text{になります。}$$

まだ使っていない数字は3、4、7なので、

$$\text{あ} = 7、\text{か} = 3 \quad \text{だとわかります。}$$

最後に、 $\text{う} = 4$ がわかって完成です。

1つの円の中の数を足すと、どれも14になります。

整理すると、

$$\underline{\text{あ} = 7、\text{い} = 1、\text{う} = 4、\text{え} = 2、\text{お} = 6、\text{か} = 3、\text{き} = 5}$$

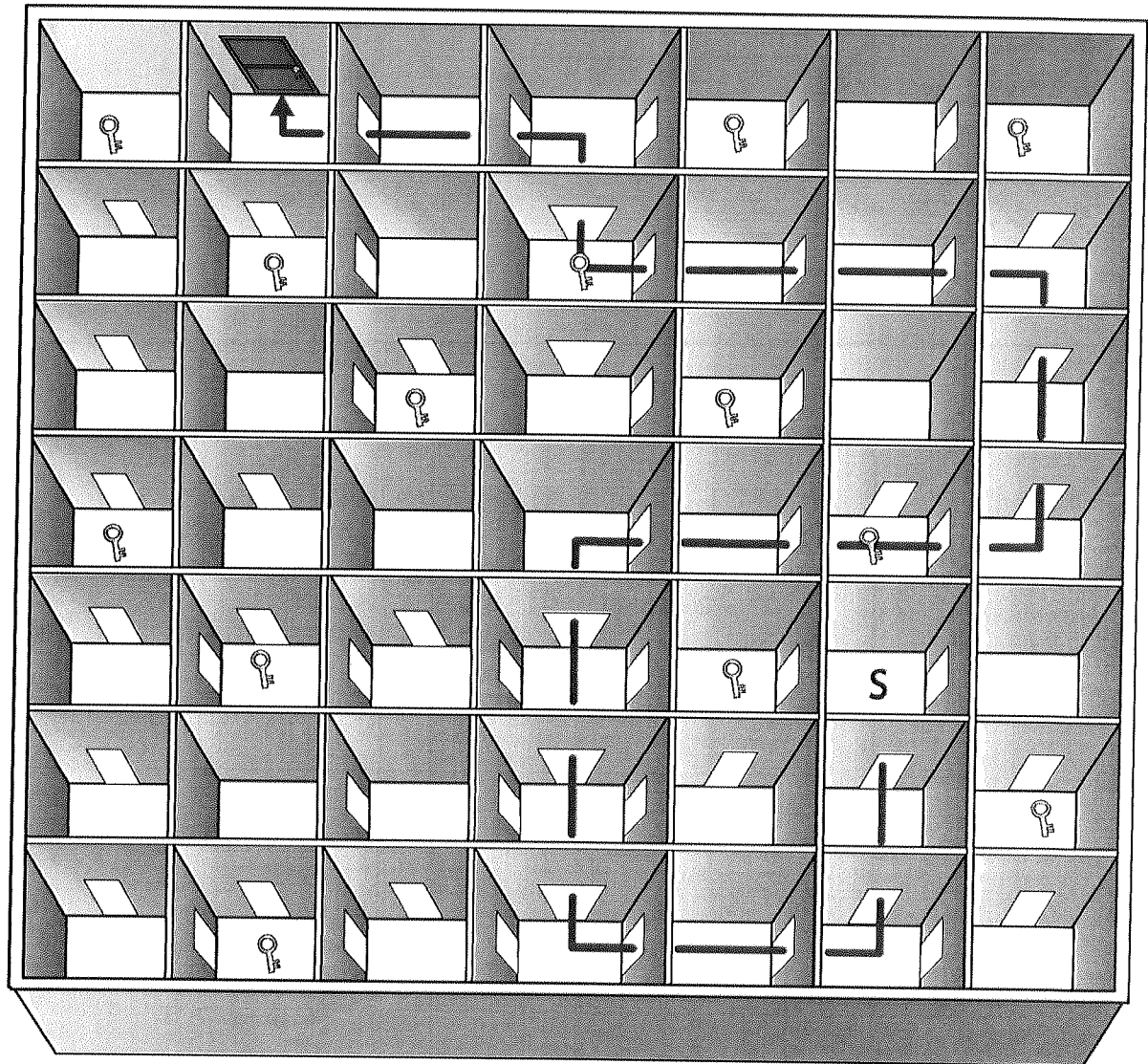
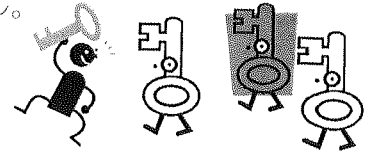
次に、「お」が7のとき、 $\text{え} = 3$ になります。

【解答】 ^{めいろ}迷路「^{こべや}小部屋からの^{だっしゅつ}脱出 ⑦」

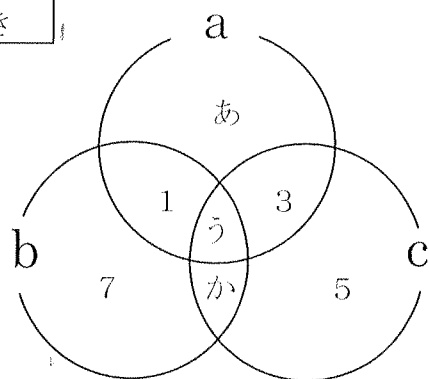
Sから  まで、 を 2つ ^{ひろ}拾って^{すす}進みましょう。

ただし、^{おな}同じ^{へや}部屋に^{どはい}2度入ってはいけません。

(^{しろ}かべの^{ぶぶん}白い部分は、^{とお}通り^ぬ抜けできます。)



「お」が7のとき



a と c の円に注目すると、

「う」と3は共通なので、

$あ + 1 = か + 5$ になります。

まだ使っていない数字は2、4、6なので、

$あ = 6$ 、 $か = 2$ だとわかります。

最後に、 $う = 4$ がわかって完成です。

1つの円の中の数を足すと、どれも14になります。

整理すると、

$あ = 6$ 、 $い = 1$ 、 $う = 4$ 、 $え = 3$ 、 $お = 7$ 、 $か = 2$ 、 $き = 5$

※最初に、a と c の円から考えても同じ答えを出すことができます。

【答え】

あ	い	う	え	お	か	き
7	1	4	2	6	3	5
6	1	4	3	7	2	5